

市民ワークショップ『がまごおり未来会議』結果報告書

■市民ワークショップ『がまごおり未来会議』の概要

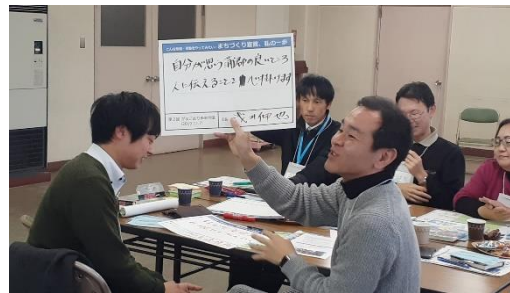
蒲郡市で進めている新しい総合計画の策定に向けて、令和元年11～12月にかけて3回のワークショップを開催しました。様々な世代や分野の市民にご参加頂き、今後10年の蒲郡の将来像や、その実現のための施策・事業のアイデアについて参加者同士で意見交換を行いました。各回の開催概要は以下の通りです。

	開催日	テーマ	参加者数
第1回	11月17日(日)	次世代育成(子育て・教育)	11名
第2回	12月7日(土)	賑わいと活力(産業・交通)	14名
第3回	12月14日(土)	医療・福祉(健康づくり・福祉)	8名

【第1回】



【第2回】



【第3回】



■グループワーク「10年後の理想と将来像の実現方策」

各回のテーマについて、6～7名×4グループに分かれて、自己紹介の話題を踏まえつつ今後10年の蒲郡のあるべき姿と、その実現のための取組アイデアを検討しました。

グループワークの最後に成果発表として、各グループから3分ずつ発表してもらいました。各回で出されたアイデアや意見を、現総合計画の基本施策（1～6章）別に分類し、以下の表にまとめました。

第1章 笑顔で安心して暮らせるまちづくり

1. 健康づくり

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べない子がいる。 ・親が忙しく、食育にかける時間がない 		<ul style="list-style-type: none"> ・1日30品目を推進する ・親子の料理教室を公民館や小学校で実施する
子ども食堂			<ul style="list-style-type: none"> ・対象を限定せず、子ども食堂への参加を呼び掛ける

3. 子育て支援

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
育児放棄	<ul style="list-style-type: none"> ・育児放棄された子どもがいる 		<ul style="list-style-type: none"> ・居場所、生活力をつけさせる場所をつくる
母親（父親）の休憩場所	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち中でちょっと休める場所がある（散歩中の休憩・井戸端的な場所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さん（お父さん）の授乳・おむつかえの場所を増やす
子育てしやすい環境の整備		<ul style="list-style-type: none"> ・市外の人にも魅力を発信できるまち ・生みやすい、育てやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の若い人に市の良さや子育てできる環境や住みやすい環境を作り出す ・育休の取得促進など
母親が孤立しない環境	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての負担や悩みを抱える母親がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に溶け込んだ地域ぐるみで育てるまち ・近隣住民が交流でき、子育て相談・支援が可能なまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・どぶ掃除や町内会のボランティアを通して地域ぐるみの交流の機会を増やす
父親への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・父親同士触れ合う機会が少ない 		<ul style="list-style-type: none"> ・30、40代の父親をターゲットにした祭りの開催（竹島）
持続可能な子育て		<ul style="list-style-type: none"> ・0歳からの切れ目のない支援、よりそいのあるまちに 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健士さんの処遇改善 ・0歳児を含む子どもの存在を民生委員など、地域で把握する
病児保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育できる場所は市内で一軒のみ。 ・働く母親が増加している。企業の 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが病気の時、安心して病児保育に預けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院の中に病児保育体制を作り、預かれるようにする

	育休制度は整備されている。		
屋内施設		・平日・土日祝にかかわらず、無料で楽しめる場所が増えている	・「豊橋ここにこ」のような屋内遊具施設の充実

4. 高齢者支援

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
安心	・民生委員の役割が人手不足等により、限界を迎えている	・高齢者は増加しているが、安心して生活ができるまち	・地域単位で高齢者の見守り体制をつくる ・地域の窓口となる役割をつくり、高齢者の変化を早く見つける
居場所づくり		・いきいきサロンなど、高齢者の居場所が増える	・料理や運動も含め、居場所を通じた健康づくりを支援する

6. 地域医療

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
健康の回復	・民生委員の役割が人手不足等により、限界を迎えている	・病になっても回復する努力をみなができるように	・百日チャレンジ（体重を計る） ・ウォーキングの導入 ・ネットからも応募できる、景品がもらえるようにするのも一つの方法

第2章 笑顔で安心して暮らせるまちづくり

5. 新産業

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
農福観連携		農・福・観連携のまち	・パッキングセンターや直販施設をつくり、農業と観光、あるいは福祉をはじめとする様々な産業と結びつける

6. 観光

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
PR			・蒲郡の良さをPRする (蒲郡うどんなど)
名産販売		・蒲郡の名物、名産を簡単に購入できる ・その店等で人とのふれあいになる。	・駅のサテライト(ナビテラス)にて名物、名産を販売 ・名物、名産を作っている店等へバスで行けるようにして車中で、名物、名産の秘話を紹介
海と観光	・竹島までのルートが楽しめない	・海のそば、山の上から海をながめられる店等がたくさんある町。	・駅から竹島までの道に店を誘致する(海が見えるカフェなど) ・周遊バスを運行する。歩いて巡ることもできるようにする。
自然環境整備		・海や山がきれいになってもっと行きたくなるまち	・三河湾を浄化、清掃する ・山を活用する
市内の利便性		・市外に出なくても買物・遊びが充実している	・アウトレットモールを誘致する
水産資源		・水産資源を売りにしたまち	・深海魚を含むおいしい魚が食べられるようにする ・深海魚を見る事ができる水族館をつくる
体験型観光		・海・山を活かしたスポーツ・体験・アクティビティで街を活性化。 ・竹島を中心に賑わいのあるまち	・竹島周辺でSUP、ヨガ、パラグライダーを行う ・ポタリング、シーカヤック、ランニング、ウォーキング、サイクリングなど
子ども		・「子ども消費」型観光	・海と山を活用したスポーツアクティビティを体験する場を設ける
ラグーナ活性化		・ラグーナエリアの活性化	・大塚海浜公園の駐車場を無料化し、賑わいを創出する(バイク、マラソンコースへの転用、ロッカー、銭湯、飲食店の充実など)
ガイドブック		・気軽に立ち寄れるまちづくり	・短時間でまわれるオリジナルのガイドブックの作成

8. 雇用

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
産業活性化と子育て支援		<ul style="list-style-type: none"> 誰でも働きやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致の際に補助金等を使う。 児童施設を企業が併設する場合に補助をする
機会の保障		<ul style="list-style-type: none"> 育児放棄された子どもでも働くことができ、自分らしくいられるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ずっとよりそえる地域、その力を活かしたあたりまえの生活体験のできる第3の居場所づくり
近場		<ul style="list-style-type: none"> 自宅やその近くで仕事ができるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 働く場所、新しい産業をつくる ICT環境を整備する
高齢者		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者にとっても働く場所がたくさんあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けに商店街を復活させたり、仕事の持ち込み（奥地方）、仕事の誘致を行う
若者		<ul style="list-style-type: none"> 若者にとってやりがいのある働く場所が、市内に数多くある、住みながら多様な働き方ができるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の企業を知る機会を増やす（広報、ケーブルテレビ、SNSなど）。 地元の企業で活躍する人を知る機会を増やす。 働く場所を維持し、増やす（企業誘致）
道路		<ul style="list-style-type: none"> 働くところ、住むところがあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 豊岡大塚線を整備し、企業を誘致する
退職者		<ul style="list-style-type: none"> 退職した人がやりがいをもって働けるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 交通整理、通学見守り隊などをやってもらう シルバー人材センターへの登録などを促す。 センターは仕事を新たに開拓し、登録者とのマッチングに努める

第3章 安全で快適な魅力あるまちづくり

1. 道路

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
バリアフリー		・バリアフリーなまち	・広い歩道、段差の無い歩道を整備する
安心		・安心して歩けるまち	・市街地への車の通行を規制する
道路		・道路が整備されたまち	・道路を整備する
救急		・10分以内に救急医療にかかることができるまち	・救急を意識した道路状況の整備を行う
利便性		・市外に移動しやすく、市外の人を呼びやすいまち	・道路を広げる。サーキット、海水浴のイベント
高齢者		・高齢者が元気、活発に移動し、車を運転できるまち	・道路や歩道を整備する

2. 公共交通

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
生活しやすさ		・子どもがずっと住んでいたい(住んでいられる)と思えるまち。	・高校生や大学生、社会人の通学・通勤に不便がないように、まちに見合った公共交通を整備する
バス	・健康センターへ行くのに公共交通がない	・子育て世代や高齢者が安心して出歩けるまち	・コミュニティーバスを充実させる
観光		・分散する資源や名所が繋がれ、巡りやすいまち	・コミバスの空き時間を活用し、観光客も市民も市内を巡る
休日		・休日を市内で過ごしたいと考えるまちづくり	・様々な場所で行われているイベントを連携させ、それらをバスでつなぐ

3. 市街地整備

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
高校生		・不便の少ないまち	・高校生も利用可能な店舗を誘致する
再開発		・蒲郡駅周辺がにぎわっている	・北駅周辺、南駅～竹島周辺を再開発し、魅力的なまちに
移動のしやすさ		・徒歩・自転車(シルバーカー)での行動範囲で暮らせるまち	・駅徒歩 15分で完結できるように施設を立地させる
車が不要	・高齢者は車がないと不便	・車がなくても暮らせるまち	・商店街など、お店を歩いていけるところに
移動手段の普及		・徒歩や自転車を利用したECOな町	・自転車の貸し出し ・ウォーキング、サイクリングイベントを実施し、ECOな移動を

			アピールする
海の交通		・ 駅周辺が賑わうまち	・ 漁船を地元ともふれあえる交通手段として利用する ・ JR－アピタ－西浦・形原－ラグーナ－JR のサイクルでまわし、『易（益）の駅』をつくる
海辺		・ 海辺（東港）がいこいの場となるまち	・ 東港を整備し、海岸線のエリアを線・面として一体的にする
夜中の外灯		・ 夜に女性などが安心して出歩けるまち	・ 玄関灯や外灯を充実させる

第4章 美しい自然を未来につなぐまちづくり

1. 公園・緑地

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
子育て世代	・子どもと安心して遊べる公園が少ない		・岡崎南公園、碧南明石公園のようなきれいな公園、新しい公園の整備
遊具	・遊具が減っている ・遊具周辺の暑さ対策 ・遊具の管理が不十分	・子どもが絶対に安心できる設備を持つ公園のあるまち	・雨天時に使用できる全天候型施設の充実 ・子どもが安心して遊べる公園の整備

5. 循環型社会形成

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
山林	・竹害がある	・山の資源を有効活用する	・竹を活用してイカダの駅伝レースを行い、宿泊・飲食につなげ知名度のUPにつなげる。 ・竹を資源化する。

第5章 ころ豊かに夢をはぐくむまちづくり

1. 学校教育

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
学校以外の場		・学校以外にも子ども達を楽しんでいる、自信があると思えることを見つけられるまち	・公民館を使い様々なカリキュラムを用意する。担当は、カリキュラム内容に精通した中高齢者とし、できることよりも知ることを目的とする
学校の充実		・子ども達が学校に行くことが楽しいと思えるまち	・地域の資源（自然、歴史等）を学ぶことができるよう、地域との協力体制を築く
学校環境の整備	・少子化の進行	・小中一貫校がある	
教育環境の整備		・教育の高度化、グローバル化をすすめる	・教科担任に専門性の高い教員を確保する
学ぶ機会		・家庭環境に関わらず学習機会が保障されるまち	

2. 生涯学習

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
地域の人々が主役		・全世代型総合学校、生涯学校、フリースクールがある	・現 20 校中 5 校程度を生涯学校とし市民協働機能共生機能を持たせる
生涯学校		・生涯学びを得ることのできるまち(文化、スポーツ)	・自主活動団体の育成、場の提供
既存の学校施設の活用			・余った学校施設を活用し、生涯学習学校をつくる
			・不登校、二ートの受け入れを進める
研修学校		・漁業や農業などを学ぶ研修学校をつくる	・既存の学校や学校材、地元の資源を活用する
やり直し		・再チャレンジのしやすいまち	・就職氷河期に生きた人たちにスポーツの機会、学習・学び直しの機会を提供する

3. 文化・芸術

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
図書館・博物館		・交流型の市教育施設があるまち	・図書館（子育て型、体験型の図書館）や博物館の創造
郷土愛		・蒲郡の良さを理解し住み続けたいと思うまち	・蒲郡産食材を使った給食の検討、蒲郡の文化歴史の再認識

4. スポーツ

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
高齢者の健康維持		<ul style="list-style-type: none"> 身近な所で、健康のためにスポーツに親しみやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の体育館等で、バレーボールなどをする。チーム対抗戦なども取り入れる 平日昼に人が集まっている場（アピタやイオン）を活用 準備運動もしっかり行い、階段の上り下りなど、下肢機能の強化につなげる
親しむ	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代がスポーツをする時間がない 		<ul style="list-style-type: none"> スポーツジムなど身近な民間施設を活用
生涯スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> スポーツをする子どもが減ってきている 		<ul style="list-style-type: none"> 小さいころから体を動かす機会をつくる
子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代がスポーツに触れる時間がない 		<ul style="list-style-type: none"> プロスポーツ観戦の機会をつくる。 企業でチームをつくる

第6章 市民とともに歩むまちづくり

1. 市民協働

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
連携		・住みたい、住み続けたいまち	・利便性、安心感をもって暮らせるように、市、市民、施設が連携する

2. 地域コミュニティ

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
地域ぐるみの教育体制		・生まれる前からのパパママ、ジジババ、地域の大人への教育があるまち	
コミュニティ		・職場（学校）、家以外のコミュニティがあるまち	・各地域（JR、名鉄駅周辺）にどのような場（カフェ）をつくる
自殺		・自殺者がいないまち	
子どもの暮らしやすさ		・子どもの悩みを聞いてもらいやすいまち	・地域のおじさん、おばさんが一緒に活動できる場所をつくる
高齢者のコミュニティ			・高齢者の集まる場所、活躍の場所を病院以外につくる（空き教室、学校など）
あいさつ		・気持ち良く生活できるコミュニティ	・学校に地域の人がかかわる（あいさつ運動など）
新規参入			・運動会、子ども会、お祭りの新たな参加者を増やす

3. 男女共同参画

キーワード	現状・課題	将来像	具体的施策・事業
性的マイノリティ		・性的マイノリティの人が安心して住める町	・男性、女性の性別を書かなくて良い書類を準備する ・パートナー証明書を出せる仕組みを整える

■はじめの一步活動宣言

会の最後に、参加者各自に、個人や家庭、地域などで新たにに取り組んでみたい「まちづくり活動、私の一步」をA3用紙に記入してもらいました。全3回で挙げられた参加者皆さんの宣言（24件）をキーワードで分類し、下記にまとめました。



◇蒲郡を知り、PRします：9件

- ・「ふるさと蒲郡」をより知っていただくお手伝い
- ・SNS等を活用し、蒲郡のよさをPRしていく。
- ・魚の美味さを伝える。市内を色々な視点でみる。
- ・がまごおりの良いところを伝えられるよう、もっとがまごおりのことを知りたい。
- ・子育て世代に、蒲郡は毎日、毎週遊びに行けるよと宣伝したい！
- ・自分が思う蒲郡の良いところ人に伝えることを心掛けます。
- ・住む町“蒲郡”の良さを臆せず伝えていく。
- ・車を使わず、家族で出かけてみる。西浦温泉、子どもの国
- ・来たい、泊りたい、住みたい『蒲郡』を観光の力で実現する！！

◇子どもや教育に関わることに取り組みます：6件

- ・子どもたちの現状について知ること。あいさつをする。
- ・地元の活動を通じて子どもたちに関わっていく。
- ・学校の中でみかんプロジェクトの実行
- ・現場の広聴、OBの先生方と30年後の蒲郡の教育の方向性の話し合いの場を持つ
- ・食育、子ども達と一緒に学ぶ
- ・親子料理教室に参加する

◇地域コミュニティを活性化します：4件

- ・町内会のボランティア活動に参加する！
- ・地域の活動・お祭りに積極的に参加する
- ・散歩等で出会った方にあいさつ&おしゃべり（近所交流）
- ・私は、家庭、地域においてあった人に必ずあいさつをするようにします。

◇健康づくりや生涯学習に取り組み、楽しみます：3件

- ・運動を継続的に続け、健康維持に努める。
- ・若い人でバレーボールを楽しくやってくれる人を増やしていきたいと思います。
- ・生涯楽しめる趣味を見つける

◇まちづくりに興味を持ち、参画します：2件

- ・私案をより多くの人、市議会議員と話し合う。
- ・自らの意見を発表する場に参加すると同時に市内のイベントをPRしていく。